

フラッグシップモデルのDNAを継承した新モデル。
3つの強力なサウンドエンジンを搭載し、今まで以上に直感的に操作できるコントロール性を実現

ヤマハ ミュージックシンセサイザー 『MODX M6』 『MODX M7』 『MODX M8』

- 10月24日（金）発売 -

ヤマハ株式会社（以下、当社）は、デジタル楽器の新製品として、フラッグシップモデル「MONTAGE Mシリーズ」のDNAを継承したヤマハ ミュージックシンセサイザー『MODX Mシリーズ』（『MODX M6』『MODX M7』『MODX M8』の3品番）を10月24日（金）に発売します。



ヤマハ ミュージックシンセサイザー 『MODX M8』

当社は、1974年の「SY-1」以来、さまざまなタイプのシンセサイザーを発売してきました。1983年には世界の音楽シーンを激変させたFM音源搭載のデジタルシンセサイザー「DX7」、2023年10月にはフラッグシップモデル「MONTAGE Mシリーズ」を発売。いずれも世界中のアーティストに認められ、あらゆる音楽シーンで使用されてきました。

このたび発売する『MODX Mシリーズ』は、フラッグシップモデル「MONTAGE Mシリーズ」の豊かな表現力と高い操作性を継承しつつ、アクティブに活躍するキーボーディストのニーズに応えるコンパクト&ライトウェイトを実現したシンセサイザーです。

音源システム「Motion Control Synthesis Engine（モーション・コントロール・シンセシス・エンジン）」の核となる「ハイブリッド音源」には、「MONTAGE M」と同じサウンドエンジンを採用。アコースティック楽器のリアリティーを持つ「AWM2」、シンセサイザーらしい表現力を兼ね備えた「FM-X」、さらにアナログシンセサイザーの微細なふるまいまでをすべてデジタルで完全再現する「AN-X」の3つを搭載し、音の表現力を大幅に強化しました。また、演奏表現の幅を飛躍的に広げるモーションコントロール機能により、複数のパラメーターをひとつのノブ（Super Knob）で集中的にコントロールできるほか、新たに追加したメイン画面下部の「ディスプレイノブ」や8本のフェーダーによる直感的な操作が手元での表現を後押し。プレイヤーの創造性を引き出すユーザーインターフェースに進化しました。加えて、キーボーディストの活用シーンや演奏の志向にあわせ、鍵盤タイプ・鍵盤数の異なる3品番をラインアップ。それぞれに可搬性と堅牢性を重視した専用ソフトケースも用意することで、アクティブなキーボーディストの活躍を強力にサポートします。

品名	品番	希望小売価格	発売日
ヤマハ ミュージックシンセサイザー	MODX M6	170,500円（税抜155,000円）	10月24日（金）
	MODX M7	198,000円（税抜180,000円）	
	MODX M8	247,500円（税抜225,000円）	

■ 一般の方のお問い合わせ先：

株式会社ヤマハミュージックジャパン シンセサイザー・デジタル楽器ご相談窓口 Tel. 0120-145-808/050-3852-4083

<概要>

1. バーチャルアナログ音源を新搭載。独創的なサウンド創造とダイナミックな演奏表現が可能に
2. サウンドに躍動感を与えるコントロール機能とユーザーインターフェース
3. 軽量コンパクトなボディによる優れた可搬性
4. 『MODX M』の音源部すべてを再現したソフトシンセサイザーを用意（2026年初頭に提供開始）

<主な特長>

1. バーチャルアナログ音源を新搭載。独創的なサウンド創造とダイナミックな演奏表現が可能に

『MODX M シリーズ』の最大の特長となる「Motion Control Synthesis Engine」は、フラッグシップモデル「MONTAGE M シリーズ」同様に、「ハイブリッド音源」と多彩なコントロールソースで複雑な音の連続変化を実現する「Motion Control（モーションコントロール）」を組み合わせたトータル音源システムです。

音源システムの核となる「ハイブリッド音源」には、「MONTAGE M シリーズ」と同じサウンドエンジンである、アコースティック楽器からシンセサウンドまで原音の高い再現性と自然で豊かな表現を得意とした「AWM2」音源（最大 128 音ポリフォニック）と、滑らかでダイナミックな音変化を得意とする「FM-X」音源（最大 128 音ポリフォニック）を搭載。さらに、アナログシンセサイザーの微細な振る舞いまでをすべてデジタルで完全再現したバーチャルアナログ音源「AN-X」（最大 12 音ポリフォニック）を新たに搭載したことで、従来モデル以上に独創的な音作りとダイナミックな演奏が可能になりました。



2. サウンドに躍動感を与えるコントロール機能とユーザーインターフェース

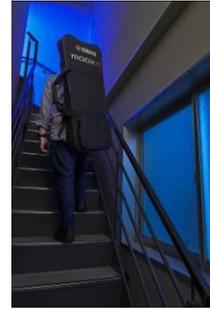
サウンドを変化させる複数のパラメーターの動きをひとつのノブ操作だけでコントロールができる「Super Knob（スーパーノブ）」や、『MODX M シリーズ』の膨大なパラメーターを一つひとつシーケンスに沿って制御し、音色を変化させられる「モーションシーケンス」といったモーションコントロール機能を駆使することにより、アーティストが追い求める自分だけの独創的で個性的なパフォーマンスを実現します。

ユーザーインターフェースの中心には視認性・操作性に優れたタッチパネルを配置したほか、新たにパネル下部に6つのディスプレイノブや、8本のフェーダー（従来モデルから倍増）を搭載。演奏しながらでも手元のつまみでパラメーターを今まで以上にコントロールできるようになり、サウンドに生き生きとした躍動感を与えます。



3. 軽量コンパクトなボディによる優れた可搬性

日常的に楽器を持ち運ぶアクティブなキーボーディストのために、本体の質量は 61 鍵モデルが 6.6kg、88 鍵モデルでも 13.6kg と、同クラスのシンセサイザーとしては非常に軽量に抑えられています。『MODX M6』は 61 鍵、『MODX M7』は 76 鍵のセミウェイテッド FSB 鍵盤、『MODX M8』は 88 鍵の GHS 鍵盤を採用し、軽量設計でありながら本格的な弾き心地を実現しています。さらに専用オプション品（別売り）として、『MODX M8』には安定性の高いキャスター付きソフトケース「SC-MODX M8」、『MODX M6』『MODX M7』には背負えるバックパックタイプのストラップ付きソフトケース「SC-MODX M6」「SC-MODX M7」をそれぞれ用意しています。



『MODX M8』専用ソフトケース「SC-MODX M8」

4. 『MODX M』の音源部すべてを再現したソフトシンセサイザーを用意（2026 年初頭に提供開始）

『MODX M シリーズ』には、ライブと音楽制作両面での活用・連携を強めるクローン・ソフトシンセサイザー「EXPANDED SOFTSYNTH PLUGIN for MONTAGE M/MODX M」のダウンロードコードを同梱しています。ダウンロード開始時期は、2026 年初頭を予定しています。



ソフトシンセサイザー「EXPANDED SOFTSYNTH PLUGIN for MONTAGE M/MODX M」

<製品仕様>

製品仕様の詳細は、製品サイトをご参照ください。

https://jp.yamaha.com/products/music_production/synthesizers/modxm/index.html

<『MODX M シリーズ 先行展示のご案内>

10 月 17 日（金）より全国のヤマハ特約店にて、発売に先駆けて『MODX M シリーズ』をご試奏いただける先行展示を実施します。実施店詳細は、製品サイト内の展示店紹介ページをご参照ください。

https://jp.yamaha.com/products/contents/music_production/modxm_onsale/index.html

<『MODX M シリーズ』発売キャンペーンのご案内>

『MODX M シリーズ』をご購入いただいたお客様に、音色ライブラリ「ヤマハ レジェンダリーシンセ&キーボード”サウンドライブラリー」（氏家克典氏による音色解説テキストファイル付）を提供するキャンペーンを実施いたします。詳細はキャンペーンサイトをご確認ください。

https://jp.yamaha.com/products/contents/music_production/modxm_welcome/index.html

<学生限定！キーボードケースプレゼントのご案内>

実施中の「学生限定！キーボードケースプレゼント」キャンペーンの対象製品に『MODX M シリーズ』を追加いたします。『MODX M シリーズ』をご購入いただいた学生（2025年4月～2026年3月に在学中）の方に、専用ソフトケース「SC-MODX M」を提供いたします。詳細は、キャンペーンサイトをご確認ください。

https://jp.yamaha.com/news_events/2022/music_production/k-on_cm.html

<関連画像>



ヤマハ ミュージックシンセサイザー 『MODX M6』



『MODX M6』 リアパネル



ヤマハ ミュージックシンセサイザー 『MODX M7』



『MODX M7』 リアパネル



ヤマハ ミュージックシンセサイザー 『MODX M8』



『MODX M8』 リアパネル

*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

*掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：佐藤 圭

TEL. 050-3148-8660

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/（取材申し込みや広報資料請求が可能です）

■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン シンセサイザー・デジタル楽器ご相談窓口

TEL. 0120-145-808（固定電話向け／フリーダイヤル） 050-3852-4083（携帯、一部 IP 電話向け）